



特集

「今年度学園教育計画」わかりやすく図解してみました！

「高山小 主幹堀越先生にインタビュー」いま、聞きたい～「？」→「！」

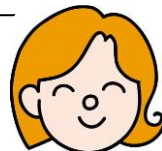
地域力・家庭力をつなげて学力の向上を図る・・・学園長 山田 三重子

東日本大震災により、多大な被害を受けた皆様にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り致します。災害地の子供たちの生活を案じておりましたが、体育館や校庭の隅、廊下やわずかな空間を活用して、学習や部活動に励む姿、避難所の運営を助ける姿などからは、今やるべきことに全力で立ち向かう強い意志が伝わってきます。

三鷹の森学園では、恵まれた環境と幸せに感謝しながら、学習活動に全力を傾ける、心と体をたくましくする、周りに感謝しながら人と関わる、人の為になる行動をする、等々について各学年の発達段階に応じて具体的実践を進めます。そのことが、支援や復興の後押しにつながると考えます。

本年度の学園の課題は学力向上です。新学習指導要領に趣旨を生かし、思考力・判断力・表現力を育成する為の授業改善を、校内研究、学園研究を通して進めます。今年は、これまでの取り組みに加えて、部活動体験、放課後や休業中の補充学習、学年内教科担任制、家庭学習の習慣化、自ら課題をもち自分で考えて解決する自主的な生活の実現、等に家庭力や地域力を繋げ、集中させて取り組みます。

コミュニティ・スクール委員会の協議結果を加味しながら、Ⅲ期卒業時の子供像を目指して充実の年にしたいと思います。よろしくお祈りします。



大人として・・・三鷹の森学園コミュニティ・スクール委員会 会長 石井章夫

このたびの震災により被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。

物の豊かさから、心の豊かさへのシフトを自分自身が意識し始めてから10数年が経ちますが、この国をも揺るがした天災・人災は、価値観の転換を日本のみならず世界中の人々に迫ることになってしまいました。今号では、三鷹の森学園の教育計画・CSが支える教育活動が特集されています。一過性の『参加』ではなく持続性のある『参画』で取り組むことにより、学校と地域がより強い絆で結ばれ連携することは、毅然とした教育の後ろ盾となります。家庭の教育力向上は、保護者の意識によること大ですが、ケースによって解決のアプローチは当然違います。多様な価値観のなか、本物を見抜く目を持つ努力を大人も意識したいものです。『安全・安心』は無料ではありませんし、元からあるものでもありません。教育においてもそれは同じです。関わる人・地域の人すべてが未来を担う子どもの笑顔をきっかけに集い、少しの手間を結集することは、決して高いハードルでは無いように思えてなりません。この牟礼・井の頭から紡ぎだされ織りなされる『三鷹の森学園』を皆様とともに、より良くとの想いで臨みます。今後ともさらなるご理解・ご協力をお願い致します。



CS委員の紹介

CS委員集合写真

サポート部
 尾崎晴美
 渡辺真弓
 高橋正典
 大川民雄
 小山雅巳

広報部
 浅見忍
 吉野恵蔵
 村井嗣子

会長:石井章夫
 副会長:篠原秀和
 副会長:小池敏雄
 副会長:高島和美

学園長:山田三重子
 副学園長:五味一男
 副学園長:萩野幹夫
 副校長:吉原勇
 副校長:宮城洋之
 副校長:村岡由季夫

評価部
 西野美由紀
 板橋利定
 則信美紀子

地域部
 高島和美
 菊島成二
 田所孝
 岡本ひろみ

評価部:板橋さん、則信さんは当日撮影ができませんでした。

トピックス

地域部「花いっぱい運動」6/3

今回は、花いっぱい運動をお手伝いして下さる五小・高山小の保護者対象に「花と緑のまち三鷹創造協会」の方が、今話題のゴーヤーの育て方を教えてくださいました。親子でガーデニングなんて楽しいですね！今年度もあと3回「花いっぱい運動」を行います。花と緑と笑顔がいっぱいの三鷹の森になるよう皆様ご協力ください。



H23年度 三鷹の森学園 学園教育計画

保存版!

CSが支える 三鷹の森の教育活動

学園教育目標

地域とともに生き、豊かな
学力と人間力・社会力を有
し、国際社会に貢献できる児
童・生徒の育成をめざす。

みなさんは学校の教育目標や学校経営方針がどのよう
に立てられるのか知っていますか？教育目標は、単に理
想や理念を示すだけでなく、開かれた学校作りの一環と
して保護者や地域の願いを反映できる内容であることが
求められています。そしてこの「学園教育計画」はそれぞ
れの学校の教育課程の基となるものです。

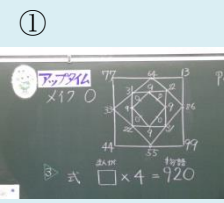
CSだよりでは1年かけて、この「学園教育計画」が
どのように実践されていくのか、子供たちがどのように
成長していくのかをお伝えしていきたいと思ひます。

NEW!

となりのク
ラスを教え
ています



NEW!



① 小学校のアップタイム
(補充学習)



⑤ 教科担任制
指導の工夫と児童
理解を促す

学力向上

～確かな学力を育む～



② 始業前の15分間
朝読書(三中)



⑥ 都体力テスト

基本方針

二大柱は
これだ!



③ 昔遊び
地域とのかかわり



⑦ 職場体験
勤労観・職業観を育む

健全育成

～豊かな人間性と
社会性を育む～



④ わくわくこどもまつり
園児を学校へ招待する
(五小1年生)



⑧ アントレプレナーシップ教育
(高山小レタス販売)

NEW!

各教科の取組み

英語 学園一貫カリキュラムに基づくコミュニケーション能力の
育成。小学校全校インプット(英会話たいそう⑨)ALTと中学
校教員の乗り入れ共同授業を行い意欲的に表現する力を育成す
る。⑩

算数・数学 習熟度別の算数・数学少人数指導、中1への乗り入
れ授業を行い、基礎学力の定着を図る。

国語 朝の読書活動を通して読書習慣、落ち着いた学習習慣を身
につけさせる。言語活動を重視し、漢字検定を実施。②⑬

体育 生涯スポーツの理念のもと、都体力テストの実施結果をふ
まえた取組みを行う。⑥

主要教科 補充学習を継続して行い基礎基本を定着させる。①

その他 教育ニーズのある児童・生徒一人一人の「教育支援計
画」に基づく指導の一貫性系統性を図る。

ココが
重点!

道徳 家庭や地域と一体となった道徳教育を推進する。

総合 キャリア・アントレプレナーシップ教育⑧を地域とともに
行う。「人とのかかわり」「地域とのかかわり」「人の役にたつこ
と」を通して生き方について考える態度を育成する。③

特別活動 様々な活動(⑪⑫⑬⑭⑯⑰)を通して学園の一体感を
育むとともに、自尊感情を育て、自主性と豊かな人間性・社会性
を育む。児童会・生徒会による学園あいさつ運動の活性化。⑱

生き方・進路指導 主体的に進路を考える力を育成する。⑦
地域の幼稚園や保育園との連携を密にし、円滑な接続を図り、
自己有用感や自己肯定感を育む。④

生活指導 「あいさつ」「規範意識」「いじめ防止」を中心に一貫
性のある指導を行う。
9年間の発達段階や特性を理解し、個性の伸長を図る。

学校 コミュニティ・スクール委員会

CS委員会では、これらの教育課
程が児童・生徒の実態と合ってい
るか、保護者や地域社会の期待や
要望に応じているか、などの視点
で評価・承認を行います。
一方で地域人財や保護者ボラン
ティアによる学校支援も進め、三
鷹の森の特色ある教育活動を支え
ています。

地域



⑨ 英会話たいそう



⑩ 英語乗り入れ授業



⑬ 三中生運動会
ボランティア



⑭ 中学校運動会への
6年生参加



⑮ 漢字検定の実施

特色ある教育活動

これぞ
三鷹の森



⑪ サマーコンサート



⑫ 玉川上水清掃

NEW!



⑯ 小学校6年生
プレ中学生体験

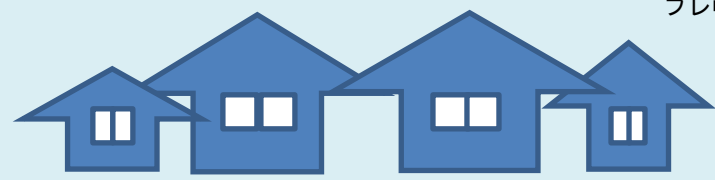


⑰ 部活動体験



⑱ 学園あいさつ運動

地域の力



家庭の力

今、聞きたい「？」→「！」

教育課程って何??

教えて!先生

今回は高山小主幹の堀越先生にインタビューしました。



— 三鷹の森学園開園3年目を迎え、今年度も「学力向上」と「健全育成」が大きな柱になっていますが、まずは「学力向上」の取組み、『補充学習』について教えてください。

アップタイムとして月に2回木曜日に行っています。この時間には会議等を入れずに、指導を行うための時間としています。授業だけでは十分に習熟できていない部分を補うために個別指導する時間ですね。

— 『学年内教科担任制』とはどのようなものですか?

一人の先生が一つの学級をかかえこむのではなく、学年全体で子供たちをみていこうというものです。例えば5年生では国語(言葉の学習)、体育(中体育)、道徳を行います。これらの授業を一人の先生が3クラスとも教えることで、重点的に指導法の研究ができますし、複数の目で子供をみることができます。高学年においては特に重要になってくる部分だと思います。

— もうひとつの柱、「健全育成」について総合の授業の取組みを教えてください。(高山小では「高山タイム」)

本校では5年生で、「牟礼地区の特性」として農業について調べています。子供たち自身で近隣の農家の方と段取りをつけ、取材や体験をしました。

— 6年生は川上村自然教室でも農業体験をしました。これもつながっていますか?

そうですね。川上村と三鷹の農業の違いを知り、職業としての農業を学びました。農作業の工夫や、困難な仕事もやり遂げる姿勢に触れ、その「発想力」や「職業人としての生き方」を実感しました。

— 地元のスーパーで、川上村で苗植えたレタスを販売しました。

川上村農家の方には、農業だけでなく川上村についての興味深い話を伺ったり、昼食時に新鮮な野菜をいただいたりと心を配っていただきました。子供たちは感謝の気持ちから、農家の方の役にたつことをしようと考え、「川上村の農作物のすばらしさを伝えたい」と、川上村産レタス販売を行いました。話し合いのなかで、「前年に牟礼の農家にお世話になったのに、川上村の野菜の宣伝や販売をしていいのか」という意見が出され、学校農園の石井さんに計画を話し、許可をいただいたということもありました。「総合的に物事を判断する力」も育っています。

— キャリア・アントレプレナーシップ教育にもつながりますか?

「起業家(企業家)精神」を培う教育であり、社会で活躍するための力を身につける教育で、小学校段階はその入

り口といえます。スーパーの店長さんや川上村 JA との「交渉力」「コミュニケーション能力」などは、将来子供たちが職業につくときに役立つ力だと思います。

— 健全育成のためには家庭の力、地域の力が必要だと思いますが、三鷹の森学園としてはどう取り組んでいますか?

例えば高山小では親子で玉川上水清掃を行いました。ゴミを拾いながらマナーやルールについて話し合われたことと思います。まずは学校の取組みを信じてご理解ご協力いただくことが最もありがたいですね。

CS 委員会の花いっぱい運動では、仲間や地域の方と一緒に花を植えながらコミュニケーションを深め、豊かな心情を育てていただきました。

ソフトバレーボール大会では学校の授業では成し得ない、他校児童とのかかわりのなかで、運動することに積極的でなかった子が自信をつけ、それが中学校の部活にもつながりました。まさに9年間を通しての活動です。学校で培った力を基盤に、さらに自分たちの力を発見し、今後の生き方まで見つけることにつながるかもしれません。

・・・インタビューを終えて・・・

堀越先生にお話をうかがい、三鷹の森学園が大切にしている教育が見えてきました。

家庭力UP大作戦!! その1 「子供と同じ本を読んでみよう」

三鷹の森学園では朝の15分間読書を行っています。「最近、子供が何を考えているかわからない」とお悩みの方は、子供と同じ本を読んでみてはいかがでしょうか?これをきっかけに子供との対話の時間が増えて、子供の心も見えてくるかもしれませんよ。

次号では一つ目の柱である「学力向上」について五小主幹の森賀先生にお話をうかがいます。どんなお話が聞けるのか楽しみです!!